

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅱ（就労支援サービスを含む） <small>Support for the Challenged Person and Support System for Independence of the Challenged PersonⅡ (including supporting services for employment)</small>		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
新井文子	福祉棟2階	初回授業にて説明する。		授業中に指示します
授業の概要				
前期Ⅰの内容をもとに、日常生活と就労に関わる支援制度および関係法規について学ぶ。これらの学びを通して、障害者の自立生活に必要な社会資源について理解を深める。				
授業の目標				
①障害者総合支援法について説明できるようにする。 ②障害者の就労支援について、必要な制度を列挙できるようにする。 ③事例や講話を通して、就労支援サービスとつながられるようにする。				
授業の方法				
講義形式であるが、個人またはグループワーク・発表も取り入れる。				
学習の成果（学習成果）				
障害者総合支援法を中心に、就労支援に係る諸制度を明確にすることができ、各障害に適した就労支援を考えることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスにそって）、前期2回の小テストをもとに復習、個人またはグループワークの課題と進め方			
第2回目	障害者総合支援法① 個人またはグループワーク			
第3回目	障害者総合支援法② 個人またはグループワーク			
第4回目	障害者総合支援法③ 個人またはグループワーク（レポート1 発表終了後提出）			
第5回目	障害者総合支援法④ 発表、まとめ			
第6回目	障害者総合支援法⑤ 他職種連携、ネットワーキングと実際 小テスト①（筆記試験形式）			

第7回目	相談支援事業所の役割と実際、小テスト①解答解説
第8回目	障害者の雇用・就労の動向、障害者の雇用に促進等に関する法律および関連法規
第9回目	低所得者と就労支援
第10回目	障害者と就労支援① 就労支援制度
第11回目	障害者と就労支援② 組織・団体・専門職の役割
第12回目	障害者と就労支援③ 民間の取り組み
第13回目	障害者と就労支援④ 事例紹介 小テスト②（筆記試験形式）
第14回目	障害者の就労施設関係者の講話（レポート2 提出：第15回目）
第15回目	視聴覚教材、まとめ、小テスト②解答解説

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	テキストや配布資料等を持参し、自主的にメモしている。個人またはグループワークに積極的に取り組んでいる。
レポート	20%	①障害者総合支援法についてまとめる。S：他者にわかるようにまとめている。 ②講話後のレポート。S：感想文にとどまらず学びを明確に記述している。 共通：誤字脱字がなく、分量が適切である。（各10%）
調査報告書		
小テスト	60%	2回実施 ①第2回～第6回までの知識の確認 ②第8回～第12回までの知識の確認（各30%）社会福祉士国家試験に準じた選択式である。参照物は不可とする。
試験		
発表内容（態度含む）	10%	発表原稿を準備し、発表の練習をしている。
その他		

教科書と参考図書

教科書（前期Ⅰと同じ）
 ①新・社会福祉士養成講座14 第5版 「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」中央法規出版
 ②新・社会福祉士養成講座18 第3版 「就労支援サービス」中央法規出版

履修上の留意点・ルール

新聞記事やニュース等から障害に関する情報を得るようにして、専門用語の理解に努めてほしい。